

高浜まちづくり協議会設立趣旨書

地方分権の時代の到来、世界に類を見ないと言われている少子高齢化の進展は、私たちが住む地域にも大きな変革をもたらしています。地方分権社会とは、地域のことは地域で決めて責任を持って実行するという社会であり、問題解決のモデルはあっても、それをそのまま自分の地域にあてはめることはできない、自ら解決の道筋を見出していかなくてはならない社会であり、そのため、これからは「地域でできることは、地域で行う」「地域だけでできないことは、行政と協働して行う」といった考えのもと、地域の自主的・主体的な取組みが重要となってきます。しかし、近年、共働きや核家族化など、その基盤となる家庭や地域を取り巻く環境は、大きく変化してしまいました。

ここ高浜地区は、江戸時代から瓦を中心とする窯業が盛んで「衣浦観音」「土管坂」「大山の大タヌキ」など、景観や文化遺産としてまちなみの中に息づいており、また「大山緑地の千本桜」や「えんちょこ獅子」「おまんまとまつり」なども住民共有の財産として、今日まで受け継がれ親しまれています。私たちは、これら先人たちが培った”財”から、知恵と努力を学び、人と人とのつながり、助け合いといった心の豊かさを再生させる「新しい社会」を創り上げていかなければなりません。

青木町、春日町、沢渡町、稗田町の高浜地区の住民や各種団体が、互いに協力し、自治意識の向上を図るとともに「豊かな絆を結び合う愛着と誇りを持てるまちづくり」を目指して、ここに「高浜まちづくり協議会」を設立します。

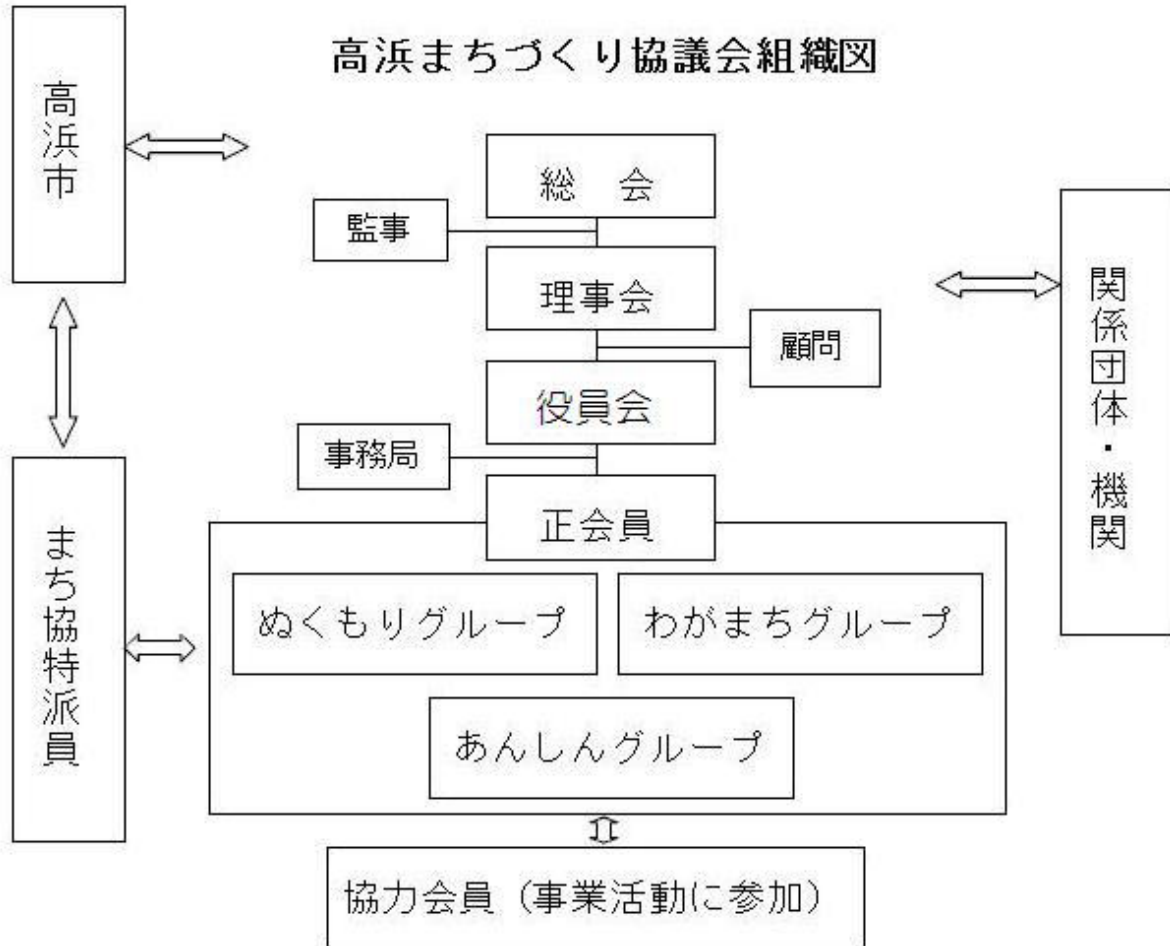
平成21年5月30日

高浜まちづくり協議会

初代理事長 神谷利信

まちづくりの推進体制

高浜まちづくり協議会がパイプ役となり、地域計画を推進していきます。



高浜市では、地域でしか解決できない、あるいは地域で取り組んだ方がより良い方向に進むと思われる課題・事業に関して、地域の責任において自主的・主体的に実施していくために、必要な権限と財源を移譲する「地域内分権」を進めています。高浜小学校区（高浜市青木町・春日町・沢渡町・稗田町）におきましても、高浜市5番目のまちづくり協議会として、平成21年5月30日「高浜まちづくり協議会」として設立総会を行い発足しました。



設立総会の模様



将来像をあらわす言葉 豊かな絆を結び合う 愛着と誇りを持てるまち

11月8日 秋晴れの中 オープニングセレモニーが実施されました。

市長をはじめ行政、他のまち協の関係者、防犯パトロールに役立てるために青色パトロールカーを寄贈された方などお招きし、高浜小学校児童の吹奏楽の演奏も花を添え式典の実施。

その後は お汁粉、どて煮、綿菓子などをふるまい。最後に青色パトロール車が町中に初めてパトロールを実施、無事にセレモニーを終了できました。

平成21年11月1日拠点施設「高浜ふれあいプラザ」は正式に開所しました。

11月8日 オープンセレモニーを実施。

